

## 「名古屋駅貸切バス乗車システム運営協議会」 設置経緯

名古屋駅太閤通口には貸切バスの乗降場所がなく、駅の西口周辺にて利用者が勝手に停車させ乗降をしていました。このため、地域住民や周辺の会社より苦情が多く寄せられ、その解決のため、愛知県バス協会を中心に日本旅行業協会中部支部、全国旅行業協会愛知県支部が協議会を立ち上げ、予約・乗車システムを構築することとしました。

2007年（平成19年）12月より、貸切バス利用者の利便を図り、不法駐車など地域への迷惑行為や周辺道路の渋滞を防止することを目的に、名古屋駅貸切バス乗車システムを導入しました。

その運営・管理を中京総合警備保障株式会社に委託し、乗車システム利用者の運用負担金もその費用に当て、現在に至っております。

今後も、貸切バス利用者の利便向上、地域への迷惑防止、円滑な道路交通などを図るため、効率的な運用を続けて参ります。